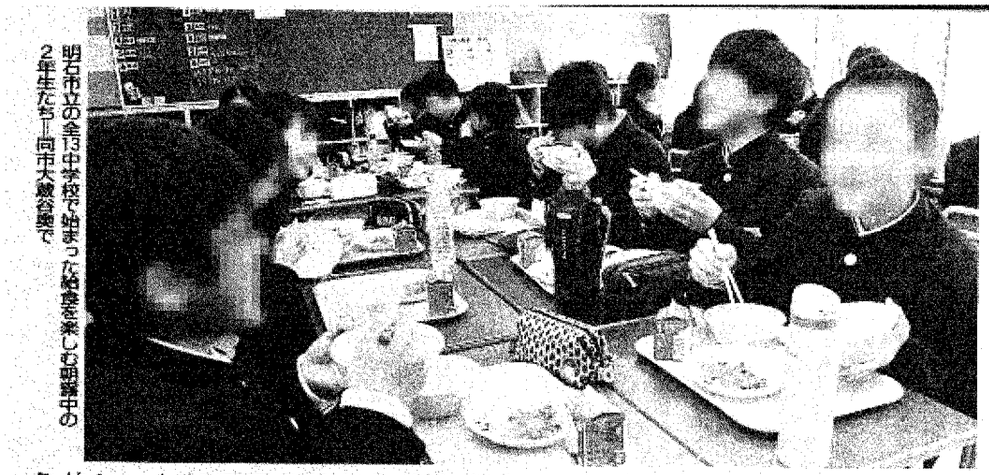
笑顔　団結　思いやり～人間力を大切にした学年へ～	明石市立朝霧中学校
SHINRYOKU ～伸　緑　伸　力～	第２学年　学年通信
	平成３０年４月２０日
	第９号

給食の取材に多くの方が朝中に来られました！

明石市に導入された給食ですが、初日の１８日には市長さんや新聞社の方など多くの訪問がありました。みんなの表情もとてもいいですね。これからも安心・安全に給食を食べていきたいものですね。今週も終わります。来週の当番の人はマスクを忘れないように。また、今週当番だった人はエプロンの洗濯やアイロンがけもよろしくお願いします！



明石市立全13中学校 一斉給食を開始

これは…おいしい!!

明石市立の全13中学校で始まった給食を楽しむ朝霧中の2年生たち＝同市大蔵谷奥で

明石市立全13中学校で、給食の一斉給食が18日、始まった。市が建てた市内の東西二つの給食センターから各校へ出来たての給食が届き、生徒計約7300人が味わった。生徒たちはおかわりするなど、おおむね好評の様子。市教委は食育や地産地消の観点から今後、メニューにタコ料理なども取り入れ、地元の食文化への理解も図る。

朝霧中（同市大蔵谷奥）では、白衣姿の生徒が手分けをして配膳。この日の同中のメニューは、ごはん▽牛乳▽春雨などを炒めた韓国料理「チャプチェ」▽みそワンタンスープだった。2年の[redacted]は「想像以上においしく、お弁当と違ってみんなが同じ料理なので味の話もできる。昼食が楽しい時間になりそう」と話していた。

市立中の給食は、東部センター（同市和坂1）が10校分、西部センター（同市魚住町西岡）が3校分を調理・配送する「センター方式」が採られた。当初の計画では2015年春に一斉開始する予定だった。しかし、東部センターで用地から廃棄物が見つかるなどしたため完成が2年半遅れた。市は2016年9月から、西部センターが調理する3校分でもデル実施し、一斉給食の開始は計画から3年遅れとなった。

生徒側が負担する給食費は1食308円、1年間では165回分、計5万820円となり、市教委が徴収する。

県教委や各市によると、保護者の要望が強まり、中学給食実施の自治体が増え、県内の公立中約350校のうち昨年度までに8割前後が実施。神戸市は16年度に市立全82校、姫路市は17年度に市立全35校で取り入れた。高砂市も19年度、加古川市も22年度までにそれぞれ全校実施の予定という。

また、明石市は市立中敷地内の地域施設を利用し、9月から一人暮らしの高齢者向けに給食（実費300円程度）を提供する計画も進めている。【浜本年弘】

▲　毎日新聞　４月１９日　朝刊

▲　神戸新聞　４月１９日朝刊



食缶や食器を返す時に、そばに立っていらっしゃる給食員さんに「ごちそうさまでした」と言える人がたくさんいるのが嬉しいですね！

また、給食係も立ち番ありがとう！みんなで協力し、スムーズに行えていますよ！

連絡　来週より制服の合服移行期間になります。名札忘れなどのないように、ルールを守ってきれいに着こなしてくださいね！